

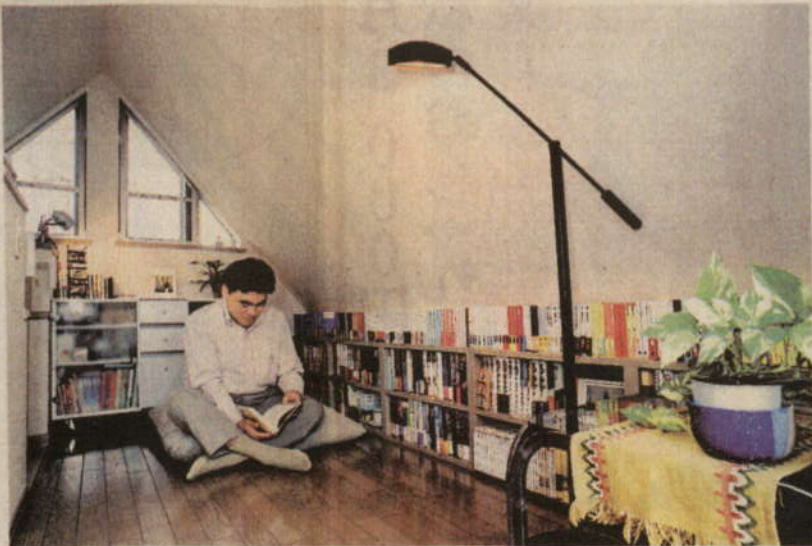
隠れ家みたいな雰囲気か漂う屋根裏部屋。「自分だけの空間を」「収納用」と人気が広がり始めた。断熱材をうまく使えば、暑さも気にならないし、規制緩和で広いスペースがとれるようになったのも魅力だ。実際に作る際のポイントを紹介しよう。

東京都大田区の閑静な住宅街に住む会社員、鈴木靖さん(42)は休みになると、いそいそと二階のリビングにあるらせん階段を上ると、そこには四畳ほどの小屋風の書斎が。「本を取り出す際に時々頭をぶつける」が、静かにくつろげる秘密の空間だ。クッションに寝転がって本を読んだり、時には夫婦で花火を眺めたり……。

家を建てたのは二年前だ。鈴木さん宅の敷地は約七十六平方メートル。この地区では認められているのは、一階部分の床面積(建ぺい率)が敷地の60%で、延べ

# 屋根裏のプチ幸せ

## 収納空間に



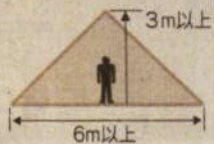
は受注数全体の4%未満だったが、昨年は一〇%近くに増えたという。大和ハウス工業も昨年末、屋根裏利用の軽量鉄骨の三階建て住宅「ユトリエアバンセ」シリーズ(三・三平方メートル当たり四十三万円台から)を発売。三井ホームは床面積が六畳程度なら総工費三十万~四十万円から施工する。

二〇〇〇年の建築基準法改正で、屋根裏のスペースを広く確保できるようになったことも追い風になった。二階部分の八分の一までだった屋根裏の床面積が、二分の一に広がったのだ。改正建築基準法では室内の平

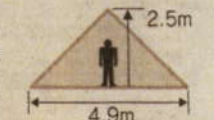
## 週末の隠れ家

屋根裏部屋を確保できる間口の幅で天井高は?

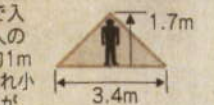
間口6m以上  
内部の最大の高さは3m以上あり、収納スペースよりも居住空間向き。間口だけでなく奥行きを確保できれば寝室やギャラリーとしても使える広々とした空間に



間口4.9m程度  
最大高は2.5m程度で、縁側ではやや圧迫感がある。壁側は収納を優先し、中央部を居住空間とする書斎や子供部屋に



間口3.4m程度  
最大高は1.7m程度と全体に圧迫感がある。はしごなどで入る収納スペース向き。大人の男性が正座すると高さは約1m超。三角テントのような隠れ小屋としての雰囲気は十分だが、覆い程度の利用がせいぜい



均の高さが一・四以下で、収納用が大半という。納目的で利用するなら容積率に算入しなくてもいいが、窓などを付け、居住用にするなら、三階建てとして自治体に建築確認を申請しなければならない。屋根裏を新増築するときには、家屋の高さ制限など条例規制にも留意する必要がある。

建築時に気をつけなければならないのが屋根裏の間口幅だ。最高部の高さは室内面積ではなく、間口幅で決まる(表参照)。居住用なら最低五五近く必要でこの場合、最大の高さは約二・五メートル。十分なようだが、天井が傾斜しており、直立して歩けるスペースは限られる。

暑さ対策も重要だ。直射日光を浴びる夏場はとくに温度が上がるため、旭化成ホームズは通常の二倍、二百mmの断熱材を使う。三井ホームは屋根下地材として二重構造の構造断熱パネルを利用している。通風を確保できる窓も効果的だ。鈴木さんはクーラーをつけていないが、二つの窓から自然風が入り、夏でもさわやかだという。

屋根裏部屋はリフォームでも作れる。年間百件の屋根裏を施工するボンスホーム(東京・世田谷)によると、敷地面積が百平方メートル前後の住宅の依頼が多

同社の場合、屋根裏床をラフォーリングにして収納場所を作るのと、折り畳み式階段の新設なら、工期は一日。居住用として天井や壁、窓を付けるときらに一日かかるが、それでも計二日で終わる。収納目的の床面積四畳サイズで階段、電気付きで総額約二十万円が目安という。

収納場所として活用する場合、万が一の室温上昇に備え、高温に弱い電化製品や着物、絹製の衣料は置かない方が無難だ。また、居住、収納のいずれのスペースとして利用するにせよ、屋根裏空間は使う目的によって設計や費用が大きく異なるので注意したい。

# 楽住快居



名前入り原稿用紙

く」なる気が

いた時に書いたり、ファックスや手紙を書くときにも使えます。とても愛用しています。書いているときは自分と向き合わなければなりません。書き終ると自分が空っぽになります。書くことで人生の一つ一つの出来事に関心を持つようになり、生き方がどう欲になつていくような



心地よい秋風に誘われ、機一転、部屋を模様替え、という気分にもなる季節、インテリアとして部屋の空間にグリーンを